

農林水産大臣賞受賞

受賞者 一般社団法人 なかもちのうきんぶつか こうちよくぼいくみあい 中道農産物加工直売組合
(山梨県甲府市)

【甲府の玄関口から地域農業活性化！ 5つのコンセプトによる農産物加工直売活動】

1 取組の動機と背景

旧中道地域は、笛吹川一帯に広がる農業地帯で、果樹・野菜等の栽培が盛んな地域である。この農業が盛んな地域において、認定農業者であった女性数名が、「自分で作ったものを直接、消費者に買ってもらいたい」との思いから、平成12年に町営施設の敷地において軽トラックの荷台で朝市を開催したことがこの活動のきっかけである。女性達の熱意は、農家や行政に伝わり、平成14年に旧中道町初の直売所をオープンするに至った。また、加工品を作りたいという女性の強い意志も町を動かし、加工施設も併設され、念願の加工への取組が本格化した。

その後活動が拡大する中、施設の指定管理者制度の導入をきっかけに「自らで運営したい」、「町に認められる組織になりたい」という意欲が増し、法人化に取り組み、出資者である農家に法人化の理解を得るとともに、組織体制の検討、出荷基準や販売価格の設定などの議論を重ね、平成17年に「有限責任中間法人中道農産物加工直売組合」の設立に至った。女性達数人で始めた小さな朝市が、現在は200人を超える組合員による活動に発展し、地域農産物や加工品の販売を通じた地産地消や特産品のPRなど、市には欠かせない組織として活動を行っている。

2 主なむらづくりの内容

- 女性で構成されている加工部では、地域農産物を活用したレストランメニューの開発や加工品の開発に積極的に取り組んでいる。また、味菜工房（レストラン）で使用している野菜を店内に表示し、レストランと直売コーナーを連携させ、地域食材の理解促進と地産地消につなげている。
- 「安心」「安全」「安価」「高品質」「安定した品質」の“5つのコンセプト”を徹底し、消費者の求める生産物が販売できるよう技術向上を目的とした栽培講習会の開催やPOSシステムを活用した販売実績の分析により消費者が求める品目を検討し、計画栽培及び計画出荷の研究を行っている。
- 地域で栽培された旬な特産の農作物を県内外の消費者に広く知ってもらうため、「もろこしフェア」や「フルーツ祭」等のイベントを毎年開催し、毎年3000人以上が訪れるなど、都市住民との交流や地域農業のPR等に努めている。また、最新の情報を提供するため、HPのブログやツイッターなどのSNSを有効活用している。
- また、農事組合法人を立ち上げている当組合員（9名）が新規就農希望者の研修受入を積極的に行うことで、地域の新規就農に貢献するとともに、新規就農者が同組合へ加入することで組合員（生産者）の確保にもつながっている。

3 むらづくりの推進体制

